



## CONTENTS

国際ロータリー青少年交換プログラムの発展と社会奉仕のための全国組織

# 一般社団法人 ROTEX が設立されました

## 01 設立のご報告 (2)

## 02 ROTEX 代表理事よりご挨拶 (2)

一般社団法人 ROTEX 代表理事・会長 橋本もとえ

## 03 会員と活動の目的 (3)

## 03 これからの予定 (3)

- ・東京オリッピック・パラリンピックに向けた社会奉仕プロジェクト
- ・定時会員総会・談話会・懇親会

## 04 お祝いのメッセージ (4)

- ・斎藤 直美 様 (国際ロータリー理事エレクト・豊田 RC・医療法人豊寿会 名誉理事長)
- ・舟木いさ子 様 (第 2750 地区ガバナー 2013-14・東京白金 RC・ヤクモ株式会社 代表取締役)
- ・古宮 誠一 様 (第 2580 地区ガバナー 2005-2006・東京東 RC・石福金属興業株式会社 代表取締役会長)
- ・水野 正人 様 (第 2580 地区ガバナー 2011-12・東京 RC、ミズノ株式会社 会長)
- ・鈴木 孝雄 様 (第 2580 地区ガバナー 2014-15・東京池袋 RC・株式会社中西商會 代表取締役社長)
- ・濱 恵介 様 (ロータリー青少年交換留学第 1 期 1962-1963・大阪大学大学院工学研究科招聘教授 2004-07)

各地域の青少年交換プログラム・ROTEx 活動を紹介します

## 全国の青少年交換プログラム

- 01 宮城県・岩手県 第 2520 地区 長期交換委員長 麻生 菜穂美さん (6)
- 02 千葉県 第 2790 地区 ROTEX 会長 御園 和也さん (7)
- 03 静岡県・山梨県 第 2620 地区 青少年交換事務局 武内 陽子さん (8)
- 04 神奈川県 第 2590 地区 ROTEX 会長 長谷川 榛平さん (8)
- 05 栃木県 第 2550 地区 ROTEX 会長 増田 碧さん (9)
- 06 東京都・沖縄県 第 2580 地区 ROTEX 山下 和歌子さん (9)

いつでも・どこでも つながる ROTEX

## ROTEx からの手紙

- 01 村上 玲於奈さん (福岡県 第 2720 地区⇒オーストラリア 2011-2012) (10)
- 02 三松 佳代子さん (東京⇒オーストラリア 1978-1979) (11)
- 03 ラッセル 斎藤さん (ハワイ⇒東京 1998-1999) (13)

開催ご報告

## 同窓会・総会 (14) ROTEX 就職セミナー (15)

ニューヨークタイムズ東京支局で活躍する ROTEX (15)

ジョナサン ソーブルさん (カナダ⇒金沢西 RC 1990-1991)

各種お知らせ

## 事務局からのお知らせ (16)

- ・ROTEx メーリングリストのご案内
- ・年会費のご案内
- ・ご芳名一覧
- ・編集後記



Recycle our experiences



国際ロータリー青少年交換プログラム50周年をきっかけとして、有志が定期的に集まり検討と元派遣学生との意見交換を重ね、昨年6月に一般社団法人ROTExを登記いたしました。

同窓会組織として、支援組織として、社会奉仕組織として、すべての元派遣学生と賛同者の活動のプラットフォームの役割を果たすべく、取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



# 一般社団法人 ROTEX が設立されました

一般社団法人 ROTEX 設立のご報告

かねてより懸案事項となっていましたROTEXの法人化は、2015年6月17日付けで登記の手続きが完了し、一般社団法人ROTEXが設立されました。

ロータリークラブとの良好な関係を継続していく為に、第 2580 地区の古宮誠一パストガバナー、水野正人パストガバナー、鈴木孝雄ガバナー、3 人のロータリアンに設立理事、大森順方元青少年交換委員長に顧問に就任していただきました。

1年目は法人化の賛否を議論し、2年目は定款の作成、会員への認知、3年目はロータリー青少年交換委員会、R I J Y E C（国際ロータリー日本青少年交換委員会）との交渉、他地区への広報にも時間を費やしました。（当初は東京地区を法人化した後に、他地区に働きかけて国内のネットワークを広げていく予定でしたが、初めから全国区としての一般社団法人 R O T E X の発足を望む R I J Y E C の意向もあり、調整に時間がかかりました。）

日本全地区の青少年交換委員会へのアンケート結果では、地方のROTEX会員は殆どが大学、就職等で大都市に流出してしまう為、移転先でのROTEX活動に参加したいという要望が多く見受けられました。その為、特に東京地区がまとまり、地方からのROTEXの受け皿としての役割も果たしつつ、交流を深めていく事も必要だと思われます。

現在、既に連絡がついた東京に在学の九州地区からの学生ROTEX、東京で就職した千葉、名古屋の社会人ROTEXとは交流し、活動を共にしております。今後は毎年行っている学生ROTEXの為の「就職セミナー」も、東京地区だけでなく、他地区からの学生ROTEXへも門戸を開く予定です。

この度の法人化により、会計の透明性が高まり、皆様から納入頂いた会費の使途も明瞭になります。更に今までローテックスの各期代表等の持つ名簿も管理が一元化でき、同窓会組織としてよりスムーズに連絡を取り合う事も可能になります。これは、私達が多少でも社会貢献できる為の第1歩になると思います。

設立して間もなく、未だ検討課題も多々ございますが、今後とも一般社団法人ROTEXへの御理解、御協力を宜しくお願い申し上げます。

02 ROTEX 代表理事よりご挨拶

一般社団法人ROTEX代表理事・会長 橋本 もとえ  
(1975年~76年オーストラリア派遣)



“笑顔、挨拶、感謝の心” 交換学生の三種の神器を携え1年を海外で過ごしたROTEXは多才な人材の宝庫といえますが、多様な価値観を持ち個性的で多忙な面とまとまり難い側面があります。しかし、貴重な体験を社会に役立てたいという共通の思いもあります。この個々の心を繋ぎ合せ大きな和の力にする、それこそが法人化により同窓会の全国的なネットワークを構築する意義であると考えます。今後は更に交流の輪を広げるべく努力して参りたいと存じます。

法人化に際し御助力賜りました皆様に心より感謝申し上げると共に、益々の御理解、御協力、御指導をお願い申し上げます

一般社団法人 ROTEX は、  
国際ロータリー青少年交換プログラムの発展と社会奉仕等を目的とする全国組織です。

### すべての元交換学生とご賛同いただいた方が会員です

#### 正会員

国際ロータリー青少年交換プログラム  
の交換学生として留学された方

#### 賛助会員

本法人の目的にご賛同いただいた方

### ROTEX は、3つの活動のプラットフォームです

国際ロータリー  
青少年交換プログラム  
への支援・協力  
(青少年交換委員会、  
交換学生)

For Rotary Youth  
Exchange Program

会員間の  
互助活動・親睦

Mutual-aid and  
Friendship

社会奉仕活動

Voluntary Social  
Service

### これからの予定

1 東京オリンピック・パラリンピックに向けた社会奉仕プロジェクト  
偶数月の第4土曜日にワークショップを開催します！

Voluntary Social  
Service

ROTEX 交流会

東京オリンピック・パラリンピックで ROTEX が出来ることをみんなで考えるワークショップ Vol.1

6月25日（土）15：00～17：00頃まで

・場所：浅草介護老人保健施設 7階

〒111-0042 東京都台東区寿4-8-2

（地下鉄銀座線 田原町徒歩1分、浅草線 浅草駅徒歩3分）

・2回以降の日程：8月27日（土）、10月22日（土）、12月17日（土）

### 2 定時会員総会・談話会・懇親会

Mutual-aid and  
Friendship

9月24日（土）15：30 第2回定時会員総会

16：15 ロータリー留学談話会

17：30～20：00 懇親会

・場所：南国酒家 迎賓館 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア

（JR山手線 原宿駅 表参道口 徒歩1分）



## Messages For “ROTEX”

一般社団法人 ROTEX に対して皆さまより  
お祝いのメッセージを賜りました。



斎藤 直美 様

医療法人豊寿会 名誉理事長  
国際ロータリー理事エレクト  
豊田ロータリークラブ  
第 2760 地区ガバナー(2006-2007)



田中作次 国際ロータリー会長年度（2012）に世界平和会議は広島市で開催されました。これに呼応するようにローテックスの法人化が加速しました。東京在住の交換学生のOB（ローテックス）と相談役のロータリアンは、これに奔走しました。平和を希求する若者の為のプログラムは、半世紀を経て法人化されたOB会に成長しました。3～5年後には関西支部が誕生することを切に望みます。

法人格取得一周年！おめでとうございます。

舟木 いさ子 様

ヤクモ株式会社 代表取締役  
国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長  
東京白金ロータリークラブ  
第 2750 地区ガバナー(2013-2014)



この度は、一般社団法人 ROTEX の創立 1 周年、誠におめでとうございます。

ロータリーには多くの青少年育成事業がありますが、プログラム終了後はロータリアンと若い方々との関係が途絶えてしまうことが、一つの課題であったように思います。若い世代の活躍はロータリーの希望です。平和な世界の実現に向けて、ROTEX の組織化は大きな一步になったのではないかと感じています。世界的テロが相次ぐ今日、RIJYEC にも交換学生の安全を守らねばならない使命があります。ローテックスの皆様と、世界に羽ばたく若者たちの未来の懸け橋となるために、共に歩んで参りたいと願っております。

一般社団法人 ROTEX 理事

古宮 誠一 様

石福金属興業株式会社 代表取締役会長 兼 最高経営責任者  
東京東ロータリークラブ  
第 2580 地区ガバナー(2005-2006)



一般社団法人 ROTEX 様には社団法人として認可されましてから、この度一周年を迎えるにあたり、大変おめでたくお祝いを申し上げます。

ローテックスの若いメンバーの方々が中心となり、今後、地域拡大及びメンバー増員により、益々ご発展されることを願っております。





## Messages For "ROTEX"

一般社団法人 ROTEX 理事

水野 正人 様

ミズノ株式会社 会長  
(財) 日本オリンピック委員会 名誉委員  
東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会 CEO (2011-2014)  
東京ロータリークラブ  
第 2 5 8 0 地区ガバナー(2011-2012)



国際ロータリーが青少年奉仕活動として組織している高校生の交換留学生制度で日本からの留学経験者で組織する ROTEX が一般社団法人として組織化されました事に、ロータリアンとして同慶に存じます。 ROTEX の皆さんが多くの人達の理解と協力によって海外留学で多くの経験ができた事に感謝し、今後はこの経験を生かし海外から来日する留学生のお世話を中心に社会に於ける奉仕活動で活躍される事を期待します。

一般社団法人 ROTEX 理事

鈴木 孝雄 様

株式会社中西商會 代表取締役社長  
としまユネスコ協会 副代表理事  
東京池袋ロータリークラブ  
第 2 5 8 0 地区ガバナー(2014-2015)



一般社団法人 ROTEX の創立一周年おめでとうございます。

青少年交換留学生として 1 年間各国で、素晴らしい経験をして帰国後 ROTEX となった同窓会組織が一般社団法人 ROTEX です。世界各地での経験と人的ネットワークを生かして、来日留学生をお世話して頂き、留学予定の日本の学生の相談に乗って頂きたいと思います。ROTEX 活動そのものが本年度国際ロータリー会長ラビンドランのテーマ、「Be a gift to the world.」の実践であると思います。そして、将来は是非ロータリアンとなって、世界を結ぶ人材になって頂きたいと願っております。

濱 恵介 様

ロータリー青少年交換留学第 1 期(1962-1963 オーストラリア派遣)  
エコ住宅研究家／一級建築士  
(独) 都市再生機構 都市デザインアドバイザー  
奈良日仏協会 理事  
大阪大学大学院工学研究科招聘教授(2004-2007)



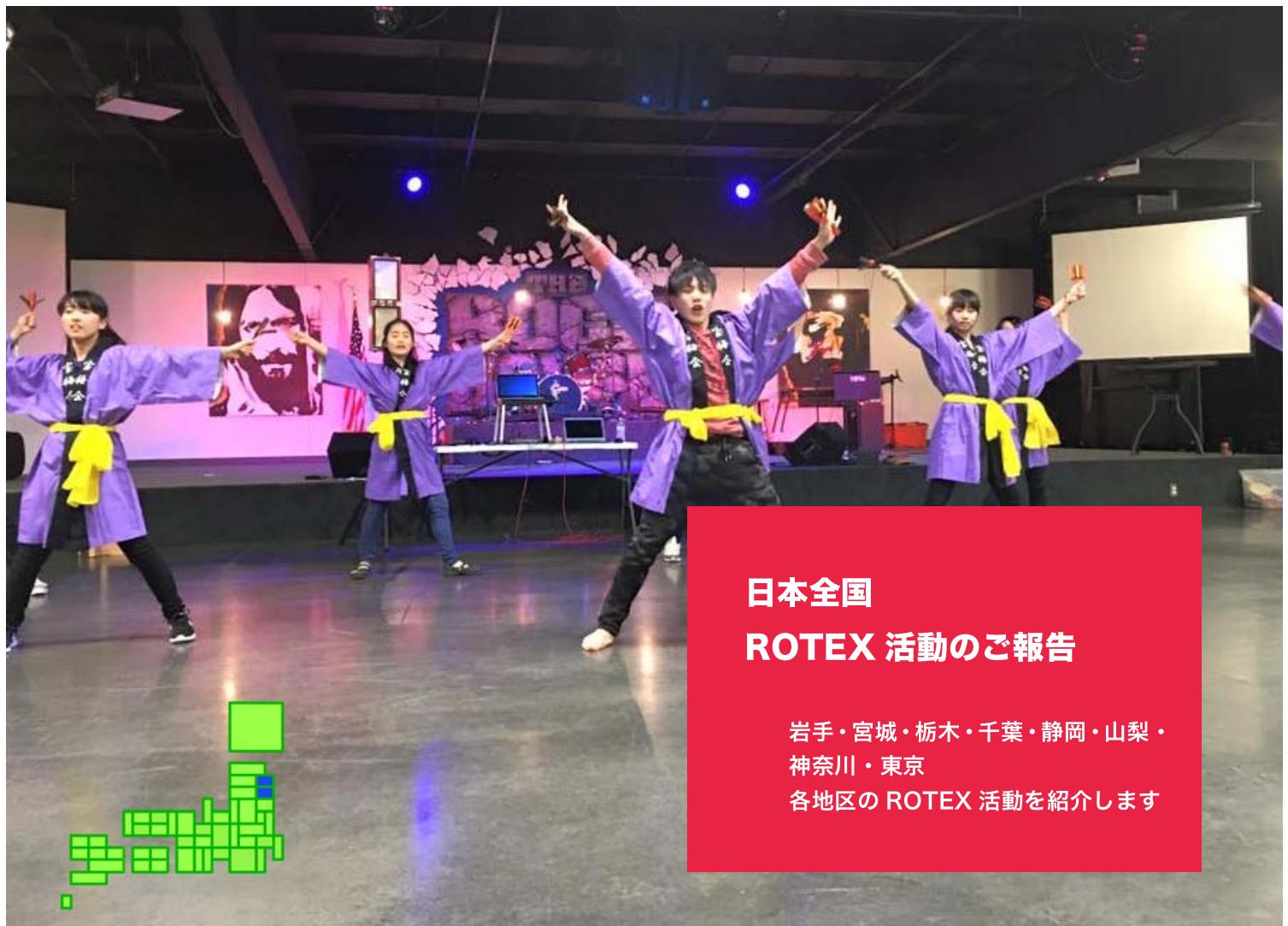
ROTEX 会員と関係者の皆様、これまでの着実な活動と組織化への努力が実り、一般社団法人として新たな出発をされたとのこと、心からお慶び申し上げます。

1962 年にオーストラリアへ留学した時の鮮烈な体験は、私の人生を通じ様々な価値を生む源泉となりました。例えば、語学力や社交性の獲得はもとより、職業上の关心や適性を発見する機会であり、同時に多様な文化や価値観を学ぶ視点を得たことです。つまり社会への参加と貢献ないし生き方を支える基礎になったと確信しています。

50 年後の 2012 年には、このプログラムが始まった頃の状況や留学の思い出を、同期の仲間と共に冊子にまとめました。「オーストラリア留学から半世紀」ロータリー青少年交換第 1 期生派遣 50 周年記念誌です。RIJYEC のホームページ (<http://www.rijyec.org/>) にも掲載されていますので、是非ご覧ください。

一人ひとりの国際交流が自分の喜びと力になるだけでなく、ご縁のできた人々の幸せと世界の平和につながると信じます。この思いの幅広い共有と ROTEX 会員の積極的な活動を期待します。





## 日本全国 ROTEX 活動のご報告

岩手・宮城・栃木・千葉・静岡・山梨・  
神奈川・東京  
各地区の ROTEX 活動を紹介します

### 宮城・岩手における長期交換プログラムと 短期交換「ロータリーの翼」

長期交換委員長  
麻生菜穂美 さん  
(1976-77 アメリカ派遣)  
(白石北 RC 会長 2012-13)

第2520地区（宮城・岩手）の長期交換委員長の麻生です。当地区では世界各地との長期交換のみならず、「ロータリーの翼」という短期交換を約40年間、アメリカオクラホマ州を行っております。毎年約10名の生徒が春休みを利用して渡米します。

私は今年3回目の引率をしましたが、毎回たった2週間ですが生徒達の大きな成長ぶりに驚かされます。オクラホマは都会と田舎がミックスした素晴らしい場所で、世界最大のロータリークラブ（会員数680名）もあり、また、開拓時代に全米からインディアンが集められた悲しい歴史が残る場所もあります。生徒達は州内7都市をホームステイで回ることにより、現代のアメリカを学び、博物館などで多くの歴史も学び、更には書道や折り紙、舞踊などで日本文化を一生懸命に伝える努力をします。

語学を習得するには長期が最適ですが、より多くの生徒が文化、国際交流、国際貢献に目覚めて大きく成長してくれるこの「ロータリーの翼」を、当地区としてこれからも大切に育てて行きたいと考えております。

①  
宮城県・岩手県  
第2520地区



短期交換のオクラホマにて



沖縄旅行・毎月のオリエンテーション



## 千葉・派遣学生・来日生の1年間を支える ROTEX

ROTEX 会長

御園 和也 さん (2011-12 オーストラリア派遣)

今年度の当地区での ROTEX の活動としては、毎月のオリエンテーションのオーガナイズと、ROTEX イベントの開催が、主な活動内容でした。

毎月開催するオリエンテーションにおいては、派遣候補生に留学の準備ということで、英語と日本語でのスピーチをしてもらいました。大人数の前でやるスピーチは、普段なかなかできない経験であり、また留学中はスピーチをすることが何かと多いので、派遣候補生にとってこれらは貴重な経験になったかとおもいます。

また、今年は、毎月実施のオリエンテーションの一層の充実化を図るという目的で、英語日本語のスピーチだけでなく、派遣候補生に単語テストの実施、外国人との交流をするイベント、英語のスピーチ暗唱なども合わせて行いました。おかげで候補生たちは、留学に必要不可欠な語学力、積極性、海外文化の知識などをオリエンテーションを通じて学べたと思います。

2月には、海浜幕張でのロータリー大会で、ロータリアンの方々が式典に出席している間、当地区の派遣候補生、来日生と一緒に、ローターアクト主催の青少年の集いに、参加させていただきました。勉強会では、ジェスチャーだけではなく表現しようとしているのかをあてるジェスチャーゲームを行い、候補生は物を伝えることの難しさを身を持って学べたと思います。3月には、派遣候補生、来日生、委員会の方々と、沖縄旅行に行ってまいりました。本土にはない沖縄の独特的な文化に触れ、また痛ましい戦争の傷跡を直にみることによって、戦争の悲惨さを肌で感じることができました。戦争が終結してから70年以上経った今でも、その戦争の遺産は生き残っており、日本に来ている来日生にとっても、これから留学する派遣候補生にとっても、世界平和に目をむけさせられる大きな体験になったかとおもいます。さらにこの旅行は、普段オリエンテーションでしか会えない派遣候補生たちとさまざまなことを語り合える貴重な時間もあり、ROTEX の留学での経験や教訓の多くを共有できました。非常に実りのある旅行でした。

来月5月上旬に、千葉、埼玉、東京、栃木の地区的 ROTEX 合同の運動交流会を催す予定です。千葉の地区は来日生が2人、派遣候補生が7人と、非常に規模が小さい地区であるので、このような他の地区にいる派遣生、来日生たちと交流を深めることは非常に貴重な経験です。全員の参加を目指して頑張りたいと思います。

この一年間、候補生にはさまざまに体験をさせることができ、また、私たち ROTEX 自身も多くのこと学ばさせていただきました。留学をして帰国した後でも、このようなすばらしい機会をくださるロータリーの方々には、この上なく多大な感謝を感じております。これからも、積極的にロータリーの活動には参加させていただき、ロータリーの奉仕の精神のもと、より一層の国際貢献に従事できるよう尽力してまいりたいとおもいます。

③

静岡県・山梨県  
第2620地区

ブラジルでの経験を活かした  
静岡山梨におけるプログラム

青少年交換事務局  
武内 陽子 さん  
(2002-03 ブラジル派遣)

4年前から2620地区(静岡・山梨)で青少年交換事務局をしています。

02-03 ブラジル派遣のROTEXでもあります。ブラジル?!危なかったでしょ?と驚かれますが、強盗に遭いました(今となってはそれも良い思い出?!です。)

現在、オリエンテーションの運営、派遣受入学生のケア、ROTEXとの連絡等をしています。

事務局として幸せを感じるのは受入学生と深く関わり成長をみられることです。日本語が上達していく学生と日本語で会話をすることが一番の楽しみです。

私自身同じ経験をしたからこそ、辛いことも楽しいことも一緒に悩んだり喜んだりできます。たった1年ですが私がそうであったように一生忘れられない1年にしてあげたいと思います。

当地区は広範囲のためROTEXの活動が難しい状況ですが、次年度からは青少年交換学友会委員会ができますので、さらに力を入れていきたいです。

④

神奈川県  
第2590地区



様々なプログラムで来日生の1年間を支えています



横浜・川崎のプログラム

ROTEX会長

長谷川 榎平さん  
(2012-13 フランス派遣)

こんにちは。私達2590地区ROTEXは、毎月のオリエンテーションに参加し、派遣候補生が安心し、自信を持って留学に臨むことのできるようアドバイスをしています。また同時に、来日留学生と積極的に関わり、自分達が留学へ行っていた頃受けた恩恵に報いようと、日本での生活をより楽しんでもらいたいと様々な企画も行っています。

例えば、スポーツ大会を先日行いましたが、スポーツという言語の壁を簡単に越えられる交流手段を通じ、来日生と派遣候補生、そしてROTEXの間の壁を取り払うことができました。月々の例会やこうした企画だけでなく、2590地区青少年交換委員が先導して行うスキーリンピックや広島京都研修についていって、派遣候補生や来日生を見守り、夜にはROTEX企画のゲームなどでアイスブレイキングも行っています。



広島京都研修

## 広がる世界の輪、ROTEX の輪

第 2550 地区 ROTEX 会長  
増田 碧 さん  
(2012-13 フランス派遣)

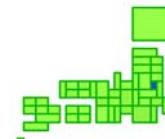
2550 地区では毎年 5 名前後の交換留学を行っております。かつては 10 名程度の交換留学生がありました、交換留学生の減少化が現状です。しかし嬉しいことに、白相青少年奉仕委員長をはじめ、委員さんの活躍による青少年交換がとても注目されています。今年は派遣国に新たにイタリアも加わり、他のいくつかの国とも交渉が進んでおります。今後、当地区的ロータリー青少年交換はますます大きくなっていくこと思います。

私たち 2550 地区では、外国からきている交換留学生に日本語研修会を開き、日本語に少しでも早く慣れてもらえるような企画をしたり、日本の文化を知ってもらおうと、日本の伝統文化理解の為、護摩焼きを体験したり、逆に世界の文化を教えてもらうべく、クリスマスパーティ等を開催しております。今年度は他地区とも交流を広げようと、新たな試みをいくつか取り入れ、ROTEX 企画として「ハロウィンパーティー」や「広島・京都方面ツアー」を群馬、埼玉などの近隣地区と合同で開催いたしました。GW 中には神奈川・千葉・東京の地区とスポーツ大会を行う予定です。地区内だけのイベントも、ROTEX の輪のおかげで、横のつながりはますます広がり、様々な企画が運営されるようになってきたことを嬉しく思います。

今後もこの ROTEX の輪を大切にし、日本国内だけでなく世界ともつながれるような大きく広いものとなっていけるよう、活動をしていきたいと思います。

5

栃木県  
第 2550 地区



ますます広がる交換の輪



6 東京都・沖縄県  
第 2580 地区

## 10 年目のジャパンツアー

第 2580 地区 ROTEX  
山下 和歌子 さん  
(2011-02 スペイン派遣)

2015 年度ジャパンツアーは、予定通り大阪から始まり、中国地方を回つて東京に戻ってくる形で進みました。9 日間で 6 府県を回る弾丸のようなツアーは、元気いっぱいの中高生だからこそできる夢のような旅行でした。

初日の朝に東京を出発し夕方に大阪へ到着し、ホテルでチェックインを済ませるとすぐに通天閣周辺の観光に行きました。長距離移動だったにも関わらず、みんな荷物を置くとすぐにロビーへ集まってきた。通天閣に上り、にぎやかな大阪の街で夕食を済ませ、実質半日ほどの滞在時間で翌朝には広島へ向けて出発しました。

広島では平和記念公園で原爆ドームや資料館へ足を運び、戦争についての知識や理解を深めました。その日の夜には学生同士が自身の考える平和とは何か、時間を忘れて議論を重ねました。明確な答えはない議題において、相手の考えを理解しそれを尊重することができる学生たちの柔軟性に感銘を受けました。翌日は宮島と呉市の大和ミュージアムへ行きました。天気にも恵まれて、美しい景色とおいしい食事を楽しみました。その後鳥取では工芸体験や鳥取砂丘観光など、様々な物に触れながら日本文化を学びました。

見のがせない名所が広く数多く存在する京都では、学生たちがいくつかのグループに分かれて自由行動にしました。それぞれが主体性と協調性を発揮し、事前に下調べをした上で決めたコース巡りは各グループにとって最も忘れられない特別な 1 日だったと思います。

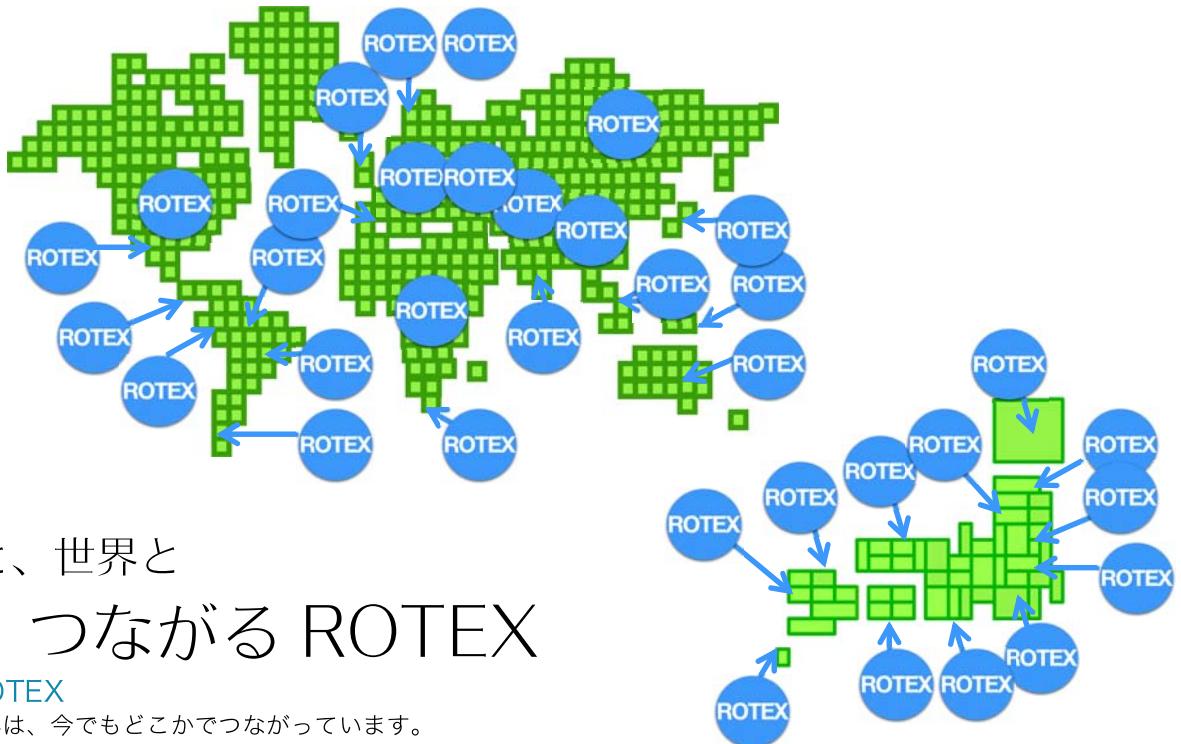
ツアー後半になんて、疲れが吹っ飛ぶほどの好奇心と仲間同士の絆で疲れを見せずに三重県・愛知県の観光を純粋に楽しむ彼らの姿は、運営しているわたしたちも元気づけてくれました。

私たちが企画したツアーを、自分なりに学び、楽しみ、短い滞在時間で多くのことを吸収してくれた学生たちは本当に素晴らしいと思いました。また、ツアー企画運営にご支援いただいたロータリアンの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。



学生 ROTEX による手作りツアー





## 日本と、世界と つながる ROTEX

### Letter from ROTEX

私たちのあの1年は、今でもどこかでつながっています。  
各地の ROTEX から届いた3通の『手紙』をご紹介いたします。

### オーストラリアにおける 人生を変える経験

村上 玲於奈さん  
(オーストラリア)  
2011—2012年



### 福岡・オーストラリア・東京=行動力

2011-12年度に 2700 地区から Australia の Perth に交換留学させていただきました村上玲於奈と申します。留学を通して私が学んだことといった意味では、語学力はもちろんの事今現在でも他人との差別化が見て取れるほどの社交性、コミュニケーション能力を身につけることができたと感じております。というのも、留学に行く前はそれこそ親から将来を心配されるほどの内向的な性格で常日頃うじうじしてばかりでした。そのため留学先でもホストファミリーは元海軍軍人の家などあえて厳しいしつけがなされるような家庭を経験しておりました。しかし、その家庭での徹底的なマナーのしつけからコミュニケーションの仕方の教育の経験によって自分を正直に出すことができるようになったと感じております。

そのような性格の矯正が留学中入ったためか、未だにいわゆる日本の“周りと合わせる”気質と逆行した“自分の感じたことはハッキリという”性格が時折表面化することがあり、しばしば他の日本人と違う空気を感じてしまうこともあります。(世界基準で見ればこれでいいのでしょうか)

慶應義塾大学に進学した今でも、東京ローターアクトクラブへの参加や、その他活動に関して必要なものがそこにはありそぐだと感じたらとにかく行動してみる行動力が身についたといった意味でも人生を変える経験の一つとなっていることは疑う余地はございません。



### オーストラリアの1年・ロス移住・インドへの支援

東京から派遣された同期のロータリー交換学生8人と羽田発シドニー便に搭乗したのは、かれこれ40年前のことです。過去30年ほどは、NHKのドキュメンタリー制作に携わってきましたが、現在は主に、移住したロスではまったくヨガがきっかけで創設した非営利組織YogaGivesBack.orの活動に専念しています。団体の使命は、世界中のヨガコミュニティに働きかけ、インドの貧しいお母さんや子供達900人を支援するというもの。この活動のため、毎年のようにインドの貧しい農村を訪問するのですが、女子だからという理由で教育を受けられなかつたり、10代で結婚させられ、娘には同じ人生を歩またくないと切望する大勢の母親に出会つたりします。彼女らの話に耳を傾けている時、私はいつも、強い共感を覚えるのです。全く異なる環境に生まれ育った自分がどうしてこんなに彼女たちに共鳴するのでしょうか。振り返ってみると、その原点は、1979年に暮らしたオーストラリアのホストファミリーのキッチンにあるように思えるのです。

このファミリーは、両親とも日中は仕事で外出していました。子供たちは、私と同年代の姉妹が3人と、弟が一人。明るく元気な、とても仲の良い家族です。このお宅のキッチンの冷蔵庫には、子供たちの一週間の家事の役割分担表がありました。食器洗い、掃除、ゴミ片付けなどなど、役割は100%公平で、男女差別、年齢差別なし。子供それぞれが、責任もって、家族のために働くのです。私はこの経験するまで、日本の自分の家族では「なぜ兄は食器洗いしなくて良いのか」「なぜ接客おもてなしの手伝いは私ばかりなのか」といった疑問を抱いていました。「女の子だから?」とも思いましたが、どうも納得できなかったのです。そんな中、このオーストラリアの家庭で、完全平等な暮らししが当然のように実践されていることを目の当たりにしたのは、私にとって、人生最大の発見でした。フェミニズム主義とかいうことではありません。この発見は、私たちが生きる地球上には異なる価値観が存在していて、自分が生まれ育ったものがすべてではないことを、私に確認させてくれたのです。この小さな発見と確認は、やがて私の中で、大きな確信へとつながっていました。「何かおかしい」と感じたら、それは本当におかしいのかもしれない。追求してみると、新しい答えがあるかもしれない。そういう無限の可能性が地球上にあることを、あのオーストラリアのキッチンは、教えてくれたのです。

### オーストラリア家庭の キッチンで 人生最大の発見！

三松 佳代子さん  
(オーストラリア)

1978—1979年



## アメリカで、日本で ご活躍のラッセルさん

### ラッセル 斎藤さん (アメリカ)

1998—1999年



#### < FROM HAWAII TO TOKYO >

During my Junior year of High School, Rotary International District 2750 (TOKYO, Japan) provided me with a life-changing opportunity to leave my home in Hawaii and study in Japan. This experience taught me the importance of having a mission in life, of constantly striving to do something bigger than myself. Later, because of the tremendous positive impact that the youth exchange program had on my life, I became determined to repay my debt to Rotary International. Before moving to Japan after graduating from the University of California at Berkeley, I joined the Rotary Club of Kona (HI) while working at my first job. This gave me the license to attend any weekly Rotary Club around the world.

After arriving in Japan to live and work in 2007, I asked to volunteer for the very same exchange program that had supported me as a student (D2750, Tokyo). Eventually, after a great deal of effort to prove my commitment to help the organization that had helped me so much, I was finally accepted as one of the youngest member ever to join a Rotary Club in Tokyo. I then spent 4 years working with the program I cared so much about and accepted two global leadership assignments related to Rotary that allowed me to meet and work intimately with experienced leaders from different industries and professions across the globe.

Since then, I have held various positions with large multi-national corporations and worked on projects with both the U.S. Embassy, and the Japanese Government. I served as the country manager for Global Entrepreneur Week Japan, and twice-nominated to represent Japan, oversees during the Global Entrepreneurship Congress.

Rotary International, in particular District 5000 (Hawaii) and District 2750 (Tokyo), providing me with the opportunity of a lifetime. The family and friends that I met through Rotary helped shape my core values as well as providing knowledge and experience. My connection with Rotary allowed me to develop and display my skills in community service project management, while also satisfying my drive to "do something bigger than myself" and provide real, tangible services to those in need.



### < TOHOKU STORY – IMPACT Foundation Japan >

Following the March 2011 earthquake and tsunami in Tohoku, both government and private funding poured into the region in an effort to rebuild homes, lives and businesses. To some extent, that effort has succeeded, and the physical scars of the recent devastation are beginning to fade. But at a much deeper level, the damage is just as severe as before and may be growing worse.

The people of Tohoku, especially the younger ones who should be starting up new businesses and revitalizing old ones, have lost hope. Many have fled the area, heading to Tokyo and other cities in search of opportunity. This situation is not only hurting the region today, but is crippling its potential to function as a viable part of the Japanese economy tomorrow.

It was a growing awareness of this lack of hope and lack of faith in the future that caused me to quit my comfortable corporate job and search for some way to make a meaningful contribution to the next generation of Japan.

In time, this led me to join IMPACT Foundation Japan, a private foundation dedicated to improving the lives of people in Japan in tangible ways, and in particular, by fostering entrepreneurship among younger people in the country. I was impressed by IMPACT's leader, Dr. William Saito (no relation), a special advisor to the Prime Minister and an award-winning entrepreneur in the U.S. in his youth. Dr. Saito encouraged me to bring my skills (which were largely a result of my experiences with Rotary) in NPO administration, social entrepreneurship, and smooth interaction with Japanese business and government officials to help positively IMPACT young people in Japan.

Today, I am a Director of IMPACT Foundation Japan, focused on identifying, energizing, and cultivating entrepreneurial talent in Japan. I am in charge of developing educational workshops, locating and vetting start-up companies for venture support, advocating policy reform, and creating a healthy entrepreneurial ecosystem that brings together community leaders, educators, businesspeople, and average citizens to help grow new ideas and bring them to fruition.

I believe that Rotary is the key to connecting the older and younger generations, and training the next generation of leaders. There is so much untapped experience, tradition, and wisdom in Rotary that needs to be passed on to the next generation. The theme of entrepreneurship could be a potential collaboration vehicle for the transfer of knowledge between the generations, leading to needed revival of the Japanese economy. Moving forward, I would like to drive advocate Rotary Japan's continued involvement in next generation development focused programs. In particular, I would like to see the Rotary Youth Exchange Program flourish with increased awareness of the needs and value of the ROTEX Alumni's deep connection to Rotary.

# 地区を超えた初めての集い 定時会員総会・同窓会が開催されました。

一般社団法人 ROTEX



昨年9月26日（土）、第1回定時会員総会に續いて、大学生＆社会人 ROTEXによる留学体験を共有する会と同窓会が開催されました。

総会では全ての議案が承認されて閉会しました。その後の留学体験は、2011年～12年、福岡2700地区からスウェーデンに派遣されていた出口ちひろさん（現在早稲田大学法学部学生）が披露してくれました。いかにスウェーデンでの有意義な体験が、現在の自分に影響しているかを報告。参加者は、自身の留学時代の気持ちに立ち返る時間となりました。

その後、1998年～99年来日の齊藤ラッセルさんの司会進行の元、東京2750地区と2580地区の若手社会人によるパネルディスカッションを催しました。改めて交換留学の重要性を考える機会となりました。

定時総会から懇親会まで総勢約50名の元留学生とロータリアンが参加されました。今回は2620静岡・山梨地区の交換委員長、ROTEx、2790千葉地区のROTExも参加されました。また、交換留学生第一号の原田さんも出席され、交換留学制度の今までの歩みを振り返ると共に、貴重な交流の場となりました。



留学体験を語らいました



定時会員総会の風景

# 社会人 ROTEX による就活生 ROTEX 向け ROTEX 就職活動サポートセミナー報告



日時

平成 28 年 2 月 7 日 (日)

13:30~16:30

場所

東京・麻布

就活のプロ ROTEX  
伊藤太一さんによるレポート

伊藤太一さん

名古屋 2760 地区からオーストラリア 9640 地区

Tweed Heads South 派遣

私は愛知県出身 ROTEX で現在は東京で人材関係の仕事をしております。毎年開催している就活生 ROTEX 向け就活セミナーの運営に今年初めて携わりました。

## セミナーの内容

### ①自己紹介

### ②就活の基礎

準備にやるべき事：自己分析、企業研究、コミュニケーション能力、ロジカルシンキングの大切さ

### ③1分自己紹介

実践、フィードバック

### ④参加 ROTEX の就活や仕事 内容について

### ⑤質疑応答

就活セミナーは今後も毎年 1 月  
から 2 月に開催します

2017 年度新卒採用は昨年以上に売り手市場、さらに昨年は経団連による倫理憲章の大幅な変更による混乱からの批判により 2 か月前倒しの 6 月スタートになった。2580 地区で始まったこの就職活動セミナーも本年で 10 回を超えノウハウもかなり蓄積されているなという印象を受けた。

情報が溢れている中で、自分たちが関わってきた ROTARY / ROTEX というコミュニティの中に情報を得ることができるこのような場は ROTARY から派遣させて頂いた学生にとっての大きなメリットの 1 つだと考える。むしろこれを利用しない手はない。今後このセミナーは規模を広げていく価値のあるセミナーだと考えているため、全国の学生 ROTEX に参加してもらうことで、1 人でも多くの学生 ROTEX が自分の価値観に合った就職、または違う選択肢を見出し、社会人としてキラキラと輝き活躍する一役を、微力ながら担えたら嬉しい限りである。そして私たち社会人 ROTEX にとっても ROTARY への恩返しの場でもあると考える。

現役の就活生でなくても就活への意識が高い、または不安、興味がある学生には是非、年次関係なく参加してもらえるよう次年度向けのセミナーは周知を行っていく予定である。(2017 年 1 月前後を予定)

もちろん、セミナー内容も更に良いモノにしていく必要があるので、しっかりと学生のニーズに合った内容のものを提供したいと考えている。

## ニューヨークタイムズ東京支局で活躍する ROTEX

Jonathan Soble さん (1990-1991 カナダ→金沢西ロータリークラブ)

ニューヨークタイムズ東京支局で活躍するジョナサン・ソーブル氏（元ファイナンシャルタイムズ東京支局長・写真右から 4 人目）は、1990 年カナダから金沢西ロータリークラブに派遣された ROTEX です。4 月 23 日、ロータリーフェローズ東京（元ロータリー財団留学生の学友会）の春季例会の講演では流暢な日本語で留学時代の思い出等も披露されました。

ROTEX の会員も参加し、ソーブル氏や平成 28 年 2 月 16 日の第 2580 地区ロータリーファミリーパーティー（財団、米山奨学生、ロータークト、ROTEX の交流会）に引き続きロータリーフェローズ東京、ロータークトの会員の方々と交流を深めることができました。



## ROTEX メールのご案内

現在 ROTEX では年1～2回、総会前の資料、及び同窓会出欠、連絡先確認、会報を郵送しております。しかし毎年2月に開催されるロータリーファミリーパーティーやその他イベント等のご案内は時間的、資金的にも制約がありメーリングリストを通じたご案内となっております。

今後は偶数月第4土曜日15時より開催する ROTEX 定例会の内容等もメール配信する予定です。メールが未登録の方は是非ご登録下さいますようお願い申し上げます。

## 年会費のご案内

2014年より ROTEX では年会費としてお一人様 3,000 円を頂戴しており、会報誌の発行、郵送、その他の法人運営費に充てております。会費は任意になっておりますが、この機会にご検討いただきたくお願い申しあげます。

新たにご協力いただける場合は下記サイトより申し込み用紙をダウンロードしていただくか  
rotexkanji@gmail.com までご連絡下さい。

### 事務局へのお問い合わせと ROTEX ウェブサイト

メールは・・・ rotexkanji@gmail.com  
ウェブサイトは・・・ <http://www.rotexjapan.org/>

Thank you

### ● ご寄付いただいた方ご芳名一覧 ●

#### 【1960年代交換学生】

山田豊、中上川加代子、松永千恵子

#### 【1970年代交換学生】

村山正、渡辺明美、井上立美、渥美恵子、岩田由美子、橋本もとえ、橋本成子、橋本留理子、植松知子、神田純子、西村洋子  
萩森真由美、倉持裕子、岡嶋光明、小野寺典子、三松佳代子、高橋豪、林牧子、石塚るみこ、日野浩志

#### 【1980年代交換学生】

掛川千尋、早崎亜樹、鳥谷部玲子、根本学、金子竜彦、鈴木邦子、ロドリゲス八木美樹、原幸一、飯山淳夫、國本博子、金子章子  
鷺田武智、福山由紀子、貝瀬知花、柿澤仁子、黒木順、佐藤雅子、小池知寿子、須田貴美子、瀧澤雅子、中嶋晶子、石田剛  
近藤崇賛、櫛引華子、俵田明、兵藤英明、原弘三郎、山本歌恵、橋本友佳子、木原一雄、原三奈子、坂本聰

#### 【1990年代交換学生】

高田智泰、足立健一、平間健太郎、伊藤由美子、高橋友映、中山奈美子、塙本恭子、金子喜世子、坂本高志、前園博之、谷山従子  
野島明美、渡辺英樹、内田由三栄、鳩山理人、安藤奈津子、原瞳、芝田寧子、小菅祥之、島根美奈子、富澤まゆ、桂彩子  
木村千秋、清水薫、島川祐輔、Sandee奈那、八名和広、加藤麗、深沢誠紀、石原有子、石川園子、厚井容子、萩野哲史  
平原都、南芽衣、荒井秀彦、鈴木智子、鴨下豊、宮本晴代、赤尾朋子、イエルム廣島藍

#### 【2000年代交換学生】

室瀬智恵、サマーヴィル松本志乃、福田綾子、佐々木未友希、近藤修一、山本智史、浪江美紀、河野万由子、高木宏樹  
三ツ矢沙織、菅原悠子、宮本慎也、小泉佐知恵、SPITZ TODD、佐藤信昭、寺島達秀、青野路子、一戸曹佑、中村瑛美、平博介  
高安愛生子、宮永幹也、松永英華、平川吐夢、細野薫櫻、中嶋茉愛

#### 【ロータリアン】

大森順方、星野勇介、五味久夫、牧野光男

\*敬称略

\*引き落としの方は基本的に銀行口座でご使用のお名前になっております。

\*次回より名前の掲載をご希望されない方はお手数ですがご連絡下さい。

team bulletin

### ● ROTEX ブルテンチームより ●

ROTEX ブルテン「peaceful ROTEX」を最後までお読みいただきありがとうございます。ロータリアンさん、学生さんを始め、各地の ROTEX からの手紙や各地区におけるさまざまな活動、いかがでしたでしょうか。

読み応えのある原稿とお写真をご提供くださいました皆さま、心より感謝申しあげます。ありがとうございました。  
これまで第 2580 地区中心の会報誌として発行しておりましたが、今回は初の全国誌としての発行となりました。

「ブルテン」、末長くあたたかくお見守りください。よろしくお願ひいたします。(motoe + minako + hidechu)

peaceful  
Rotex 16